

小学校での取り組み — 授業実践報告

5年生の道徳

「本当の平和とは…」

～カンボジアの地雷被害から～

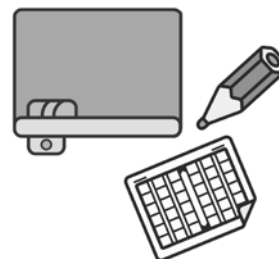


ツアー参加体験を活かした、道徳の授業の実施
©佐々木久恵

学習活動

地雷について知り、「平和」とは何かを考える

- 「平和」とはどういうことかを話し合う。
- 地雷について知る。
- 地雷の恐ろしさを知る。
- カンボジアでは地雷の危険が身近にあることを知る。
- 「地雷ではなく花をください」を読む。
- 本当の「平和」とは何かを話し合う。



使用した教材

- カンボジアの風景の写真
- 地雷の写真（インターネットより）
- 地雷の被害にあった子どもの写真
- 「義足のランナー」
(東京書籍道徳副読本6年「明日を目指して」)
- 「教室掲示物（地雷指導）」写真
- 「地雷ではなく花をください」
(絵：葉祥明、文：柳瀬房子 出版：自由国民社)

学習目標

- 地雷は、戦争が終わっても大きな影響を及ぼす恐ろしいものであることを知る。
- 本当の平和とは何かを考える。



現地の教室で貼られている地雷注意を促す掲示物
©佐々木久恵



カンボジアの小学校の教室
©佐々木久恵

学習展開（一部抜粋）

■カンボジアでは、地雷の危険が身近にあることを知る

まず、カンボジアの穏やかな風景の様子と小学校での笑顔の子どもたちの写真を提示した。次に、それと対比して教室の中にある地雷指導の掲示物の写真を見せることで、一見平和に過ごしているが、その平和を脅かす、命を奪う危険がカンボジアでは今も周りに存在することへの理解を深めさせた。

■地雷の恐ろしさから考える

地雷がどんなものかを知ったあとに、実際に被害にあった子どもの写真を見せ、地雷の被害の状況から地雷の恐ろしさを気づかせた。子どもたちは、口々に「かわいそう…」と呟いた。そして、現在でも、たくさんの地雷が埋まっていること、安い値段で製造できることを知ると、とても驚いていた。

5年生の感想（一部抜粋）

- 命に関わるものが300～400円で売っているのが許せない。やっぱり本当の平和とは、みんなが笑顔でいられることなのかなと思った。
- 地雷は安く、300～400円で買えるけど、人の命はお金では買えないので、私は平和とは地雷がないことだと思いました。
- 私たちが少しくらいがまんすれば、地雷をなくす（撤去する）お金になります。私と同じ地球の仲間にも光をあげたいと思います。